

令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画に基づく事業)

資料1-2

令和 8年 1月 13日

協議会名: 旭市地域公共交通会議
 評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)	
京成バス千葉イースト株式会社 干潟ルート(CC-4-1)	ひかた市民センター～東6区集会所～東1区集会所～旭中央病院	これまで、交通空白地域解消を目的とした一部ルート延伸や、JRIにあわせた運行ダイヤ改正、安全を考慮した運行ルートの変更など、各種の見直しを行い、運行を維持してきた。これらにより、移動の円滑化も図られ、計画実施による効果が見られている。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった。 目標 利用人数 240人/平日1日 収支率 16.7%	引き続き運賃収入以外の収入源の確保のため、コミュニティバスの車体に有料広告を募集し掲載を行う。 また、総合公共交通マップを発行し、市内各戸配布等を行い、運行内容の周知を行い利用者の回復を図る。 地域公共交通計画に基づいた改善等を行っていく。	
京成バス千葉イースト株式会社 干潟ルート(CC-4-2)	干潟駅～湯木坂上～東1区集会所～旭中央病院	利用促進やバス教育のため、令和7年8月の1か月運賃無料を実施したため、乗車人数が増加した。		実績 利用人数 200人/平日1日 (干潟ルート 18.1人) 収支率 9.27% (干潟ルート 3.76%)		
京成バス千葉イースト株式会社 干潟ルート(CC-4-3)	干潟駅～湯木坂上～ひかた市民センター	運賃収入以外の収入源の確保のため、コミュニティバスの車体に有料広告の掲載を行っている。		少子高齢化による人口減少等により、利用者が減少しているが、前年度と同等の水準を維持。		
京成バス千葉イースト株式会社 干潟ルート(CC-4-4)	ひかた市民センター～湯木坂上～干潟駅	引き続き総合公共交通マップを発行し、市内各戸、各公共施設に配布、市HPで周知を行った。				
アステル交通株式会社 旭市デマンド交通	旭南地区	令和5年3月に策定した地域公共交通計画に基づき、利便性向上策として、エリア跨ぎ運行(医療機関を中心とする)を令和6年4月より運行開始。 地域の介護・福祉事業所への説明会実施や市役所関係部署と連携し、周知を行ったことで利用登録者を増加させた。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった。 目標 利用者数 37人/1日 収支率 13.0%	利用登録者の増加に向けて、引き続き総合公共交通マップを発行し、市内各戸配布等を行い周知を行う。 また、市役所関係部署で連携し、利用者となる高齢者団体等に周知を行っていき利用者の確保に努める。 定期的に乗降対象施設の更新を行い、利便性の向上に努めていく。 地域公共交通計画に基づいた改善等を行っていく。 また、コールセンターを業者委託にすることで、土日・祝日の予約受付、経費の削減を図る。	
旭タクシー株式会社 旭市デマンド交通	干潟・旭北地区			実績 利用者数 33.8人/1日 収支率 12.6% (旭南 13.4%) (干潟・旭北 11.4%) (海上・飯岡 10.8%) (市内医療機関 12.1%)		
アステル交通株式会社 旭市デマンド交通	海上・飯岡地区			引き続き総合公共交通マップを発行し、市内各戸、各公共施設に配布、市HPで周知を行った。 また、定期的に乗降対象施設の更新を行った。		人件費の高騰に伴い、コールセンターの人件費が高騰したため、収支率が低下した。
アステル交通株式会社 旭市デマンド交通	旭市内全域 (医療機関を中心とする)					

事業実施と地域公共交通計画との関連について

令和 8年 1月 13日

協議会名:	旭市地域公共交通会議
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>旭市は高齢者や障害者等の交通弱者の移動手段の確保から、コミュニティバスとデマンド交通を運行している。コミュニティバスは令和2年4月にルート・ダイヤの見直しと運賃改定を行い、市中心部と各地域を結ぶ役割として、市内生活交通を担っている。</p> <p>デマンド交通は令和2年4月から運行開始しており、バスが運行していない交通不便地域の解消や、バスの停留所まで歩いていけない高齢者等の交通手段として市内生活交通を補完する役割を担っている。</p> <p>民間バス路線については、旭市と近隣市とを結ぶ広域的な2路線が運行している。</p> <p>コミュニティバス、民間バス路線ともに人口減少等の影響により利用者は減少傾向にあるものの、通院等の高齢者や通学の生徒・学生がおり、このことから今後も市内生活交通としてのコミュニティバス、地域間を結ぶ路線バスともに維持していく必要がある。</p> <p>なお、コミュニティバスの補助対象路線を運行している旧干潟町地域は鉄道駅が無く、駅までの交通手段の確保と、高齢者等を中心とした旭中央病院の外来患者(旧干潟町の年間外来患者数は約3万人)の交通手段を確保する必要がある。</p>

令和7年度 旭市地域公共交通会議(千葉県旭市) (地域内フィーダー系統確保維持事業)

地域の公共交通等の現況・課題

旭市は高齢者や障がい者等の交通弱者の移動手段の確保から、コミュニティバスとデマンド交通を運行している。コミュニティバスは市中心部と各地域を結ぶ役割として、市内生活交通を担っており、デマンド交通はバスが運行していない交通不便地域の解消や、市内生活交通を補完する役割を担っている。

民間バス路線については、旭市と近隣市とを結ぶ広域的な2路線が運行している。コミュニティバス、民間バス路線ともに人口減少等の影響により利用者は減少傾向にあるものの、通院等の高齢者や通学の生徒・学生の利用があり、バス交通を確保・維持する必要がある。

また、近年の物価・人件費の高騰により、経費が増大していく中でサービスを継続することも課題となっている。

交通計画の基本的な方針／定性的な目標

市民にとって利用しやすい持続可能な公共交通体系を実現する。

【基本方針】

- ①だれもが利用しやすい公共交通の実現
- ②将来にわたり持続可能な公共交通の実現
- ③まちづくりと連携した魅力ある公共交通の実現

【計画目標】

- ①広域交通と市内生活交通の相互の連携によるわかりやすく利便性の高い公共交通ネットワークの構築
- ②行政・地域住民・交通事業者等の協働による持続可能な取り組みの展開
- ③まちづくり計画との連携による魅力的な交通環境の創出

目標を達成するために行う事業の今年度実施状況

- ・市内4つルートでコミュニティバスの運行やデマンド交通の運行を行い、高齢者等の交通手段を確保した。
- ・公共交通計画等に基づき、デマンド交通の利便性向上策として、医療機関のエリア跨ぎ運行を実施している。
- ・旭市合併20周年記念事業として、今までコミュニティバスを利用したことのない方の利用促進や、夏休み期間中の小・中学生など、子どもたちのバスの乗り方教育等のため、令和7年8月は運賃無料で運行した。
- ・高齢者の利用促進と周知のため、地域の介護・福祉事業所向けにデマンド交通についての説明を行った。

アピールポイント

- ・コミュニティバスは、これまでも交通空白地域解消を目的とした一部ルートの延伸や、JRの運行に合わせたバスダイヤの改正など各種見直しを行ってきた。
- ・コミュニティバスの利用促進や乗り換えをスムーズにするため一日乗車券及び回数券を販売している。
- ・デマンド交通では、利用者のニーズを調査し、乗降対象施設の更新等を行い、利便性の向上を目指している。
- ・毎年、市内の公共交通情報を一元的に掲載した「総合公共交通マップ」を作成し、市内の各世帯、公共施設等に配布している。

資料1-4

一部過疎指定



面積	130.47km ²
人口 (R7.4.1時点)	61,510人
15歳未満	6,298人
65歳以上	20,248人
高齢化率	32.92%

交通計画の計画期間

令和5年4月～令和10年3月

協議会開催状況

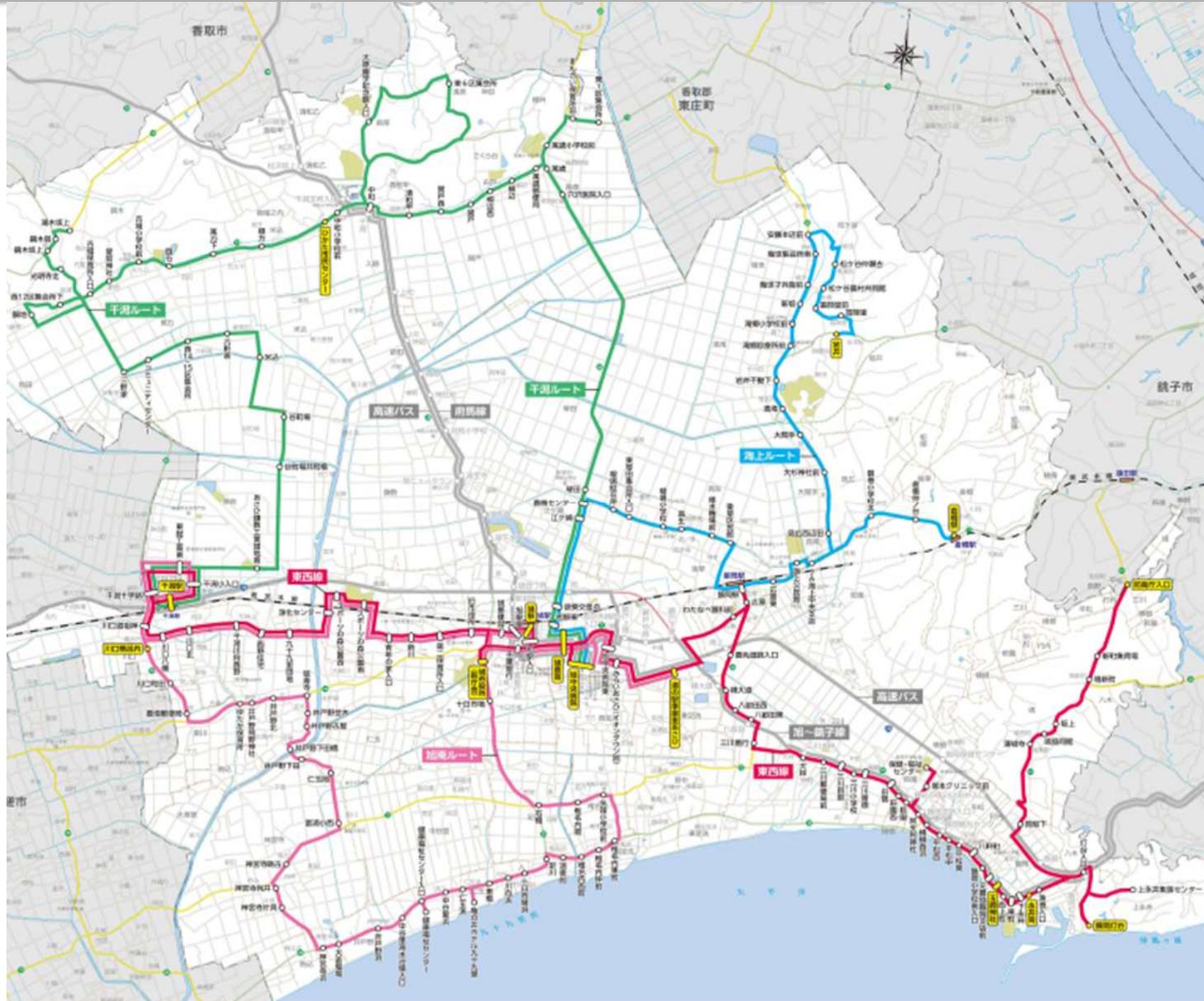
令和6年度

- ・第1回書面会議 (R6.6.13～6.24)
R6年度地域内フィーダー系統確保維持計画の変更について
- ・第2回書面会議 (R7.1.14～1.27)
R6年度地域内フィーダー系統確保維持事業の事業評価
- ・第3回書面会議 (R7.2.26～3.12)
旭市地域公共交通計画における令和5年度実施事業の評価について

令和7年度

- ・第1回 (R7. 6. 26)
R8年度地域内フィーダー系統確保維持計画の策定等について協議
- ・第2回書面開催 (R7.10.17)
コミュニティバス停留所名称変更について

管内図



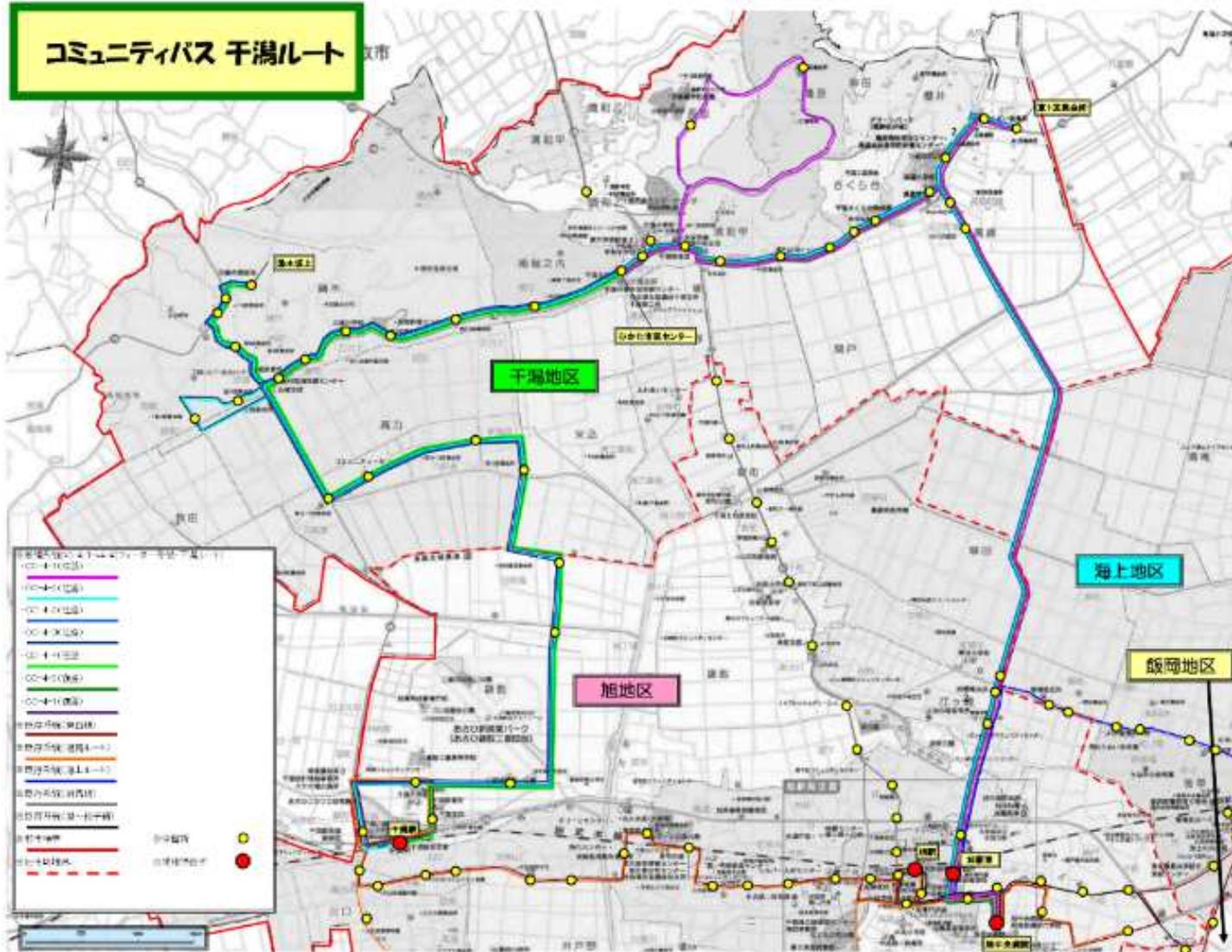
干潟ルート 路線図



【定時定路線型乗合バス(干潟ルート)】

- ・運行区間 : CC-4-1~4-4
- ・運行日 : 359日
- ・運行時間帯 : 1日あたり 時間
(6:25~18:06(11h))
- ・運行本数 : 7便/日
- ・運行車両 : 日野ポンチョ
- ・運賃 : 200円 割引運賃100円
- ・利用状況 : 平日 2.6人/便
休日 1.4人/便
- ・運賃収入 : 628千円
- ・収支率 : 3.8%

事業実施区域 旭市コミュニティバス



【定時定路線型乗合バス(干潟ルート)】
 ・運行区間 : CC-4-1
 (ひかた市民センター～東6区集会所～東1区集会所～旭中央病院)
 ・運行日 : 243日
 ・運行時間帯 : 1日あたり 時間
 (6:25～17:04(1.2h))
 ・運行本数 : 2便/日
 ・運賃 : 200円 割引運賃100円
 ・利用状況 : 平日0.8人/便
 休日 運行なし
 ・運賃収入 : 49千円
 ・収支率 : 1.2%

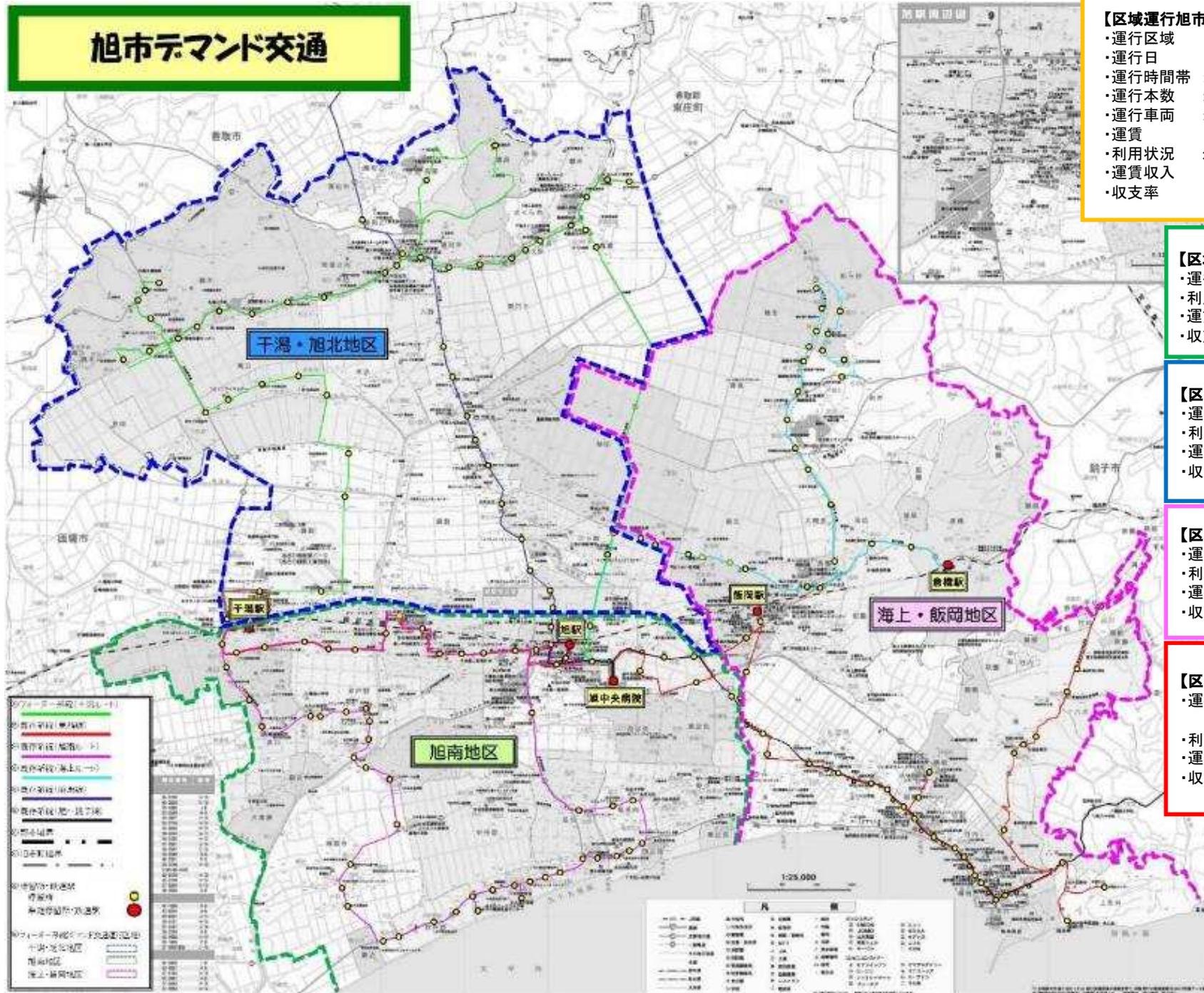
【定時定路線型乗合バス(干潟ルート)】
 ・運行区間 : CC-4-2
 (干潟駅～湯木坂上～東1区集会所～旭中央病院)
 ・運行日 : 359日
 ・運行時間帯 : 1日あたり 時間
 (7:13～14:26(2.0h))
 ・運行本数 : 3便/日
 ・運賃 : 200円 割引運賃100円
 ・利用状況 : 平日4.4人/便
 休日1.6人/便
 ・運賃収入 : 479千円
 ・収支率 : 5.3%

【定時定路線型乗合バス(干潟ルート)】
 ・運行区間 : CC-4-3
 (干潟駅～湯木坂上～ひかた市民センター)
 ・運行日 : 243日
 ・運行時間帯 : 1日あたり 時間
 (17:29～18:06(0.5h))
 ・運行本数 : 1便/日
 ・運賃 : 200円 割引運賃100円
 ・利用状況 : 平日1.5人/便
 休日 運行なし
 ・運賃収入 : 45千円
 ・収支率 : 2.5%

【定時定路線型乗合バス(干潟ルート)】
 ・運行区間 : CC-4-4
 (ひかた市民センター～湯木坂上～干潟駅)
 ・運行日 : 243日
 ・運行時間帯 : 1日あたり 時間
 (6:38～7:10(0.5h))
 ・運行本数 : 1便/日
 ・運賃 : 200円 割引運賃100円
 ・利用状況 : 平日1.2人/便
 休日 運行なし
 ・運賃収入 : 55千円
 ・収支率 : 3.5%

事業実施区域 旭市デマンド交通

旭市デマンド交通



【区域運行旭市デマンド交通(きらりんタクシー)】

- ・運行区域 : 旭南地区/千潟・旭北地区/海上・飯岡地区
- ・運行日 : 243日 月曜日～金曜日(平日)
- ・運行時間帯 : 8時～17時(12時～13時を除く)
- ・運行本数 : 8便/日・区域
- ・運行車両 : タクシー車両
- ・運賃 : 500円 割引運賃400円
- ・利用状況 : のべ利用者数8,212人(4区域合計)
- ・運賃収入 : 3,620千円(4区域合計)
- ・収支率 : 12.6%(4区域合計)

【区域運行旭市デマンド交通(きらりんタクシー)】

- ・運行区域 : 旭南地区
- ・利用状況 : のべ利用者数 2,676人
- ・運賃収入 : 1,168千円
- ・収支率 : 13.4%

【区域運行旭市デマンド交通(きらりんタクシー)】

- ・運行区域 : 千潟・旭北地区
- ・利用状況 : のべ利用者数 2,273人
- ・運賃収入 : 992千円
- ・収支率 : 11.4%

【区域運行旭市デマンド交通(きらりんタクシー)】

- ・運行区域 : 海上・飯岡地区
- ・利用状況 : のべ利用者数 2,094人
- ・運賃収入 : 935千円
- ・収支率 : 10.8%

【区域運行旭市デマンド交通(きらりんタクシー)】

- ・運行区域 : 旭市内全域
(医療機関を中心とする)
- ・利用状況 : のべ利用者数 2,335人
- ・運賃収入 : 1,050千円
- ・収支率 : 12.1%